

幅広い釣り物に対応する汎用ロッド NEW リーディングネライ

●ダイワの船竿ブランド「リーディング」の誕生から現在まで命脈が尽きることなくファンを支持を得てきた「ネライ」が久びさのリニューアル。ワンピースならではの強靱な粘り、新バランス理論ESSの採用、穂先部AGSガイド、Vジョイントα、ゼロシートなどダイワのテクノロジーが満載。7:3調子は変わらず継承し、オモリ負荷、全長などによって6アイテム、オモリ負荷20~250号までとなり、幅広い魚種に対応可能となった。



▶「ライトに楽しむならネライですよ」と石塚さんは3本目

▲ゼロシートセンターグリップ採用

▲穂先部はセンサーグラストップにAGSガイド

アイテム	全長 (m)	継数 (本)	仕舞 (cm)	自重 (g)	先径/元径 (mm)	負荷(号)	カーボン有率 (%)	メーカー希望本体価格(円)
M 200・W	2.00	2	139	155	1.2/11.0	20-100	56	44,800
M 230・W	2.30	2	169	165	1.2/11.5	20-100	59	47,800
MH 200・W	2.00	2	139	165	1.2/12.0	30-150	65	47,800
MH 230・W	2.30	2	169	180	1.2/12.5	30-150	66	50,800
H 200・W	2.00	2	139	185	1.4/13.5	50-200	66	50,800
HH 200・W	2.00	2	140	200	1.4/14.0	80-250	69	53,800

NEW シーボーグ400J/JL

▶スタッフはH200でワラサを掛ける



●軽量コンパクトボディはコマセマダイやワラサの手持ち釣りにもピッタリ。糸巻き量も十分にやり、スルメイカや中深場釣りにも転用可能。ジョグパワーレバー、マグマックスモーター、ATD、マグシールドベアリングなども採用した最先端の電動リールだ。発売中。

▶このクラス初、ファンにはうれしい左巻き仕様も用意

■自重585g、ギア比5.1、最大ドラグ力16kg、標準糸巻き量PE 3号500m、4号400m、メーカー希望本体価格92,000円

NEW スーパーリチウム 12000WP

●大容量12000mAhの電動リール専用リチウムバッテリーが登場。電源オンオフスイッチ、視認性のよいバッテリー残量常時点灯、セーフティスイッチ、ウォッシュアップ構造などの便利機能も搭載。発売中。

■容量12Ah、本体重量約1230g、メーカー希望本体価格78,000円(充電器なしは68,500円)

▶スイッチを長押しすれば残量が常時点灯



NEW タフトランクGU4300

●堅牢&頑丈で座っても平気なタフボディ。大型キャスター付きで持ち運びも楽らく。43リットルで大型魚も収納可、2リットルのペットボトルも縦置き可能。

▶座っても平気なタフボディ

■容量43L、自重9kg、カラーは4色、メーカー希望本体価格47,700円(S4300もあり)



動画連動!



★当日の動画はダイワ「船最前線」よりご覧になれます。

快適 ワラサ仕掛けKPPS

●ハリはD-MAX尾長真鯛ケイムラピンク10~13号、全長4.5~6メートルで全6種。メーカー希望本体価格800~900円



「しなやかな穂先は食い込みがよい反面、バットパワーもあるのでヤリトリも楽ですよ」と本日1本目にホツとした表情。

そのまますたは断続的にワラサを掛け、あつという間に3本を釣り上げる。まさに連子ヤンモード突入といった釣れ具合だった。

そんなところに、船長から南西風が強まってきたので早揚がりの通告。このまま連釣を期待したところだが安全第一。12時に早揚がりとなった。

「リニューアルしたリーディングネライ、ぜひ一度手に取ってみてください。伝統ある竿ですが、技術の進化を確実に実感できるはずですよ」と言いながら、天候の急変を残念がる石塚さんだった。

ら時合を待つ。船中で2ヶタ近く釣れたところで潮止まりとなり、しばらくはまったりした時間が続く。10時を過ぎてようやく潮が流れた

したと思ったらところで、石塚さんに初ヒット。

7:3調子に見えた竿がきれいな曲線を描き、シーボーグ400Jのパワーとも相まって、グイグイとワラサを引き寄せる。タモに収まったのは4キロ弱の本命だった。

「しなやかな穂先は食い込みがよい反面、バットパワーもあるのでヤリトリも楽ですよ」と本日1本目にホツとした表情。

そのまますたは断続的にワラサを掛け、あつという間に3本を釣り上げる。まさに連子ヤンモード突入といった釣れ具合だった。

そんなところに、船長から南西風が強まってきたので早揚がりの通告。このまま連釣を期待したところだが安全第一。12時に早揚がりとなった。

「リニューアルしたリーディングネライ、ぜひ一度手に取ってみてください。伝統ある竿ですが、技術の進化を確実に実感できるはずですよ」と言いながら、天候の急変を残念がる石塚さんだった。

★ワラサが掛かった。竿を斜めに立てていればリールとロッドのパワーでグングン巻き上げてくれる

三浦半島剣崎沖ワラサ来襲 手軽に楽しむ青物ファイト

★当日は4キロ前後の良型がメインだった



▶当日はネライH200を予備に2セットを用意

石塚広行が教える ライトで楽しむワラサ&マダイ

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.88

ワラサ最前線

at 三浦半島剣崎松輪港出船

●身近な大物釣りとして大人気のワラサだが、初心者や中小物釣りに慣れ親しんでいるファンにとってはタックル準備だけでも頭を悩ます。今回はダイワワールドテスター石塚広行さんが、色んな釣り物にも転用できる汎用竿でワラサを狙った釣りに密着する。

釣行したのは三浦半島剣崎松輪港の棒面丸、もちろんターゲットは10月に入って本格的に釣れ出したワラサである。ワラサは季節限定の釣り物、普段あまり大物釣りに縁のない方にとっては、いざ釣行しようと思ってもタックル選びに悩むものだ。「リーディングネライがリニューアルして10月に発売されました。この竿はワラサはもちろん、マダイやヒラメ、中深場の釣りなど幅広く使える汎用性が自慢なんです」とダイワワールドテスター石塚広行さん。

石塚さんはワラサ、マダイを始め様々な釣りのエキスパート。今回は専用竿ではなく、万能竿での挑戦。ダイワ新製品の

性能と威力を披露しようというわけである。

6時半に出船し、航程15分ほどの剣崎沖水深40メートル前後で投入合図。石塚さんが手にしたのはリーディングネライ6アイテムのうち、MH-200というモデル。オモリ負荷30~150号と幅広く、

「アマダイ、ヒラメ、オニカサゴ、アカムツなどにも使えますよ」と言いながら、石塚さんはさっそく1投目を下ろす。タナ下からコマセを振りながら、「自重が軽いのもあるのですが、新バランス理論ESS設計のおかげでコマセワークがとても楽なんです」

これにセットするのが同じく新製品の「シーボーグ400J」。軽量コンパクトでありながら、パワーやスピートは十分過ぎるほど。ワラサにもピッタリの電動リールだ。

時合は朝、のはずだが、アタリがくるのはトモばかり。ミヨシに座った石塚さんは完全に潮下で苦戦を強いられる。ハリスの太さや長さを替えなが